

原子力発第15049号

平成27年 5月11日

愛媛県知事

中村 時 広 殿

四国電力株式会社

取締役社長

千 葉 昭

伊方発電所3号機の原子炉等規制法の改正に伴う新規制基準への適合に係る
設備の設置等に関する事前協議の再補正について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。弊社事業につきましては、平素から格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、弊社は、平成25年7月8日に、原子力規制委員会へ新規制基準への適合に係る伊方発電所3号機原子炉設置変更許可申請書を提出し、この内容について、「伊方原子力発電所周辺の安全確保及び環境保全に関する協定書」第9条に基づく事前協議の申し入れをさせていただきました。

その後、平成27年4月14日、原子力規制委員会へ伊方発電所3号機原子炉設置変更許可申請の補正書を提出し、事前協議の内容についても補正させていただいておりますが、当補正内容に関し、原子力規制庁へ説明する過程において、記載内容を適正化すべき箇所が抽出されたことから、それらを申請書に反映し、本日、再補正書を原子力規制委員会へ提出いたしました。

つきましては、平成25年7月8日に申し入れをさせていただきました事前協議の内容について、再度補正させていただきたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、補正申請からの主な変更について別紙に示します。

敬具

別紙 補正申請（平成27年4月14日）からの主な変更

補正申請（平成27年4月14日）からの主な変更

新規基準における 主な要求事項	再補正の主な変更内容
耐震性能	<ul style="list-style-type: none"> 耐震重要施設に対して波及的影響を考慮すべき施設の検討用地震動について、設計方針の原則である「S s」のみに修正（変更前は、頻度概念を考慮して検討用地震動を設定することから「S s又はS d」と記載していた）
耐津波性能	<ul style="list-style-type: none"> 津波評価にあたり、使用するモデルやパラメータの設定理由並びに潮位や地盤変動等の解析条件に係る記載を充実 浸水防止設備として、海水管ダクト内の逆止弁に関する内容を追記 海水ピット堰の設計の方針に係る記載の適正化 津波警報発令時の燃料輸送船の漂流防止のための措置に係る記載の適正化
自然現象に対する考慮 (火山, 竜巻, 森林火災等)	<ul style="list-style-type: none"> 土石流及び地滑りに対する設計方針及び具体的な運用上の措置を追記 ダムの崩壊及び船舶の衝突による影響に係る記載を充実
火災に対する考慮	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器内における火災防護対策に係る記載を充実
その他設計基準に係る性能	<ul style="list-style-type: none"> 保安教育に関する重複記載を削除
炉心損傷防止対策 格納容器破損防止対策	<ul style="list-style-type: none"> 中型ポンプ車による補助給水タンクへの補給について、海水補給であることを追記
放射性物質の拡散抑制対策・意図的な航空機衝突への対応	<ul style="list-style-type: none"> 期待できる発電所災害対策要員以外の人員に対する個別の教育内容について追記
その他重大事故等対処に係る性能	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対処設備の耐震設計上の設備分類について、添付書類間での整合を図って修正
技術的能力 事故シーケンス等の選定	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉自動停止失敗時の影響緩和に係る手段のうち、手動操作に係る手順について、原子炉緊急停止と原子炉出力抑制を区別して記載 発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等のうち、大気への拡散抑制に関して事象の状況確認と作業準備の関係を明確にし、記載を適正化 大型放水砲は、複数の方向からの放水が可能であることを追記 計器故障が疑われる場合の監視について、代替パラメータによる推定等の実施について追記 事故シーケンス等の選定に活用した確率論的リスク評価の実施プロセスに係る記載において確認として参照した事項等を追記